

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	東北の手しごと展神戸実行チーム
活動テーマ	「東北の手しごと展 in 神戸」

神戸新聞記事 2015・10・24



大阪の女性建築士仲間数人が、2011 年秋に東北の被災地を巡り、被災地での風景や、仮設の方々との出会いを経て、京都で開催された「大槌・田老・田野畑 手業（てわざ）展」を見て感動。この布クラフトの手づくりの温かさと質の高さを備えた素晴らしい作品を生み出している東北のパワーをもっと多くの人に伝えたいと計画し、2012 年 12 月、大阪の「東北の手しごと展」が開催されました。その大阪での手しごと展に訪れた岸和田の女性達が、是非岸和田でも開催したいと引き継ぎ、2013 年 11 月に開催。その後、鹿児島や愛知の足助なども開催の手を挙げていましたが、会場などの問題で開催未定のままとなっています。

各地域リレー方式で続けていきたいということで、神戸での開催を打診され、震災を経験した神戸でも是非開催すべしと検討を重ね、震災から 20 年となる節目でもあり、神戸ならではの事業をと計画。JR 西日本あんしん財団の助成金を知り、申請をして無事採択され、「手しごと展」の開催と同時に、東北の方に神戸に来ていただき、トークセッションとして市民の方々との交流の場を設けることが出来ました。事業は、女性建築士仲間達の団結力で盛会のうちに無事に終了、今回の手しごと展を通して「東北を忘れない」ということをアピール、神戸から被災地の方々を応援でき、今後も交流が続くことが大きな収穫となりました。他の地域でも開催が可能になるように、社会的な支援の仕組みが求められていると感じています。